

幼稚園化の計画は

教育長 阿井、亀嵩、鳥上は
平成25年度に開園可能



問 阿井地区の幼稚園化について、説明会が開かれたこと。阿井地区の現状と幼稚園化の計画について問う。

答 安部教育長
25年4月から幼稚園化が可能と説明しました。

問 要望のある地区から幼稚園を整備するという方針に対し、要望がない阿井地区でこのような説明会が開かれたのはどういうことか。

答 方針は変わらないが、保育所改修が必要であり、二重投資を避けるため説明会を開催しました。

問 二重投資を避けることは理解できるが、幼稚園の修繕工事をしたばかりである。募集締め切り前に説明会が開かれれば、幼稚園希望者が少なくなるのは当然である。他地区の状況はどうか。

	幼稚園	保育所 幼児園		幼稚園	保育所 幼児園
阿井	3	52	馬木	8	54
三成	3	115	亀嵩	2	
布勢		42	三沢	15	
横田		102	鳥上		
八川		37	合計	31	402

問 保護者にとつては、幼稚園で卒園できるかどうかは重要な問題である。これまで以上の早期の情報公開が必要と考える。国では、私立保育所の運営費の見直しが検討されており、その財源として年少扶養控除を地方に移すとされている。奥出雲町における金額は。

答 安部教育長
平成24年度の希望状況は、以下の通りです。(別表参照)
幼稚園化について、鳥上、亀嵩では24年度に受け入れ可能な施設改修を予定しています。

問 財政企画課長
保育所運営費国庫負担金額は平成22年度実績で約1億1千500万円であり、年少扶養控除廃止による税収の増額見込みは約3千100万円、差額の約8千400万円が奥出雲町の負担増となれば大変なことになります。

問 このような状況も想定される中、多様な環境は検討できないか。問題は、どのような教育方針で運営するかということである。

答 佐白については、年間約296万円、玉峰山荘は約1千72万円です。

問 現状は町外からの購入で、町内の森林循環でないという意味がない。複数ある町内のスタンブ、ポイントカードを統合・拡張し、地域通貨の受け皿として、再整備の考えはないか。

答 商工会の主導のもとで、統合に向けた検討協議を進めていただきたい。

問 町内の特産品といえる縫製関係のポロシャツ、ジーンズ等を活用した奥出雲町版クールビズの導入の考えは。

答 職員自らの判断で着用することを期待します。

問 玉峰山荘はどうか。

答 地域振興課長
昨年度の仕入れ食材の総額は7千800万円であり、地元業者からの購入額は4千660万円です。

問 もっと地元産の活用はできないか。

答 メニューや献立を工夫し、町内での購買を増やしていくことを私からもお願いします。

問 木質ボイラーの導入が予定されているが、木質チップの年間購入額はいくらの想定か。